

教科名	家庭	学年	2 学年
-----	----	----	------

目 標	生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、衣食住などに関する実践的・体験的な学習活動を通して、よりよい生活の実現に向けて工夫する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 家族・家庭の機能について理解を深め、生活の自立に必要な家族・家庭、衣食住、消費や環境等についての基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けることができる。 (2) 家庭や地域における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を考え、実践を評価・改善し、考えたことを表現するなど、課題を解決する力を身に付けることができる。 (3) 家族や地域の人々との関わりを考え、家族の一員として、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し考えようとする実践的な態度を身に付けることができる。
学年の目標	生活の自立に必要な家族・家庭、衣食生活、消費や環境等についての基礎的な知識について理解し、それらに係わる基礎的な技能を身に付けることができる。 高齢者とのかかわりや消費生活、環境についての課題に目を向け、解決策や適切な対応について主体的に考え、表現する力や生活を工夫しながらより良い生活を送ることができるよう、自ら実践する態度を身につけることができる。

月	時 数	単元名 題材名	単元目標 (観点別の目標)	学習内容	評価の観点 (生徒の達成度を A～D の 4 段階で総合評価)
4 5 (10 11)	11	【家族・家庭生活】 【衣食住の生活】 【消費生活・環境】 ・衣生活について I C T活用	【知識及び技能】 ・衣服と社会生活との関わりについて知り、目的に応じた着用方法を知ることができる。 ・環境に配慮した衣服の選択、入手方法について知ることができる。 ・目的に応じた縫い方や用具の安全な取扱いについて理解し、適切に使用することができる。 【思考、判断力、表現力】 ・衣服の選択、入手における様々な情報や環境に配慮した行動について考え、自分の生活に応じた衣服の選択、入手方法について表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・持続可能な社会の構築を目指し、環境に配慮した望ましい行動をしようとする態度を身に付けることができる。	□衣生活 ○これからの衣生活 ①資源としての被服、再資源化 ②衣生活と環境 ○被服実習 ①ミシンの使い方 ②ミシン縫い (巾着、ポーチなど) 〔社会：地域の安全・環境問題〕 〔総合：環境問題〕 〔数学：計測〕	【知識・技能】 1 段階：衣服と社会生活の関わりについて知り、環境に配慮した適切な衣服の選択、入手方法について知ることができる。 2 段階：安全な用具（ミシン）の使い方を知り、適切に使用することができる。 【思考・判断・表現】 1 段階：環境や自分の生活に応じた衣服の選択、入手方法について考えることができる。 2 段階：環境に配慮した衣服の選択、入手方法について理解し、環境に配慮した再資源化について考え、表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 1 段階：環境に配慮した望ましい行動の大切さに気付くことができる。 2 段階：環境に配慮した適切な衣服の消費行動について理解し、日常生活で行動していく意識をもつことができる。
					評価方法：授業態度、 出席、プリント課題、実技
5 6 (11 12)	8	【家族・家庭生活】 【衣食住の生活】 【消費生活・環境】 ・高齢者の生活について	【知識及び技能】 ・高齢者の生活の特徴が分かり、高齢者との適切な関わり方について知ることができる。 ・高齢者の生活課題とその対処法について知ることができる。 【思考、判断力、表現力】 ・高齢者とのよりよい関わり方や自分と家族の高齢期の過ごし方について考え、表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・家庭生活の構成員としての自覚をもち、進んで家族と協力しようとする態度を身につけることができる。 ・生活を楽しみ、豊かさを味わおうとする態度を身につけることができる。	□家庭社会 ○高齢期を理解する ①人の一生と高齢期 ②高齢社会の現状と課題 ○高齢者の心身の特徴 ①老化と成熟 ②多様な高齢者 ○高齢者疑似体験 ○高齢者とのふれあい体験 ○これからの高齢生活 ①高齢者と支える仕組み ②高齢期の経済生活 〔社会：国や社会の仕組み〕	【知識・技能】 1 段階：高齢者の生活の特徴について知ることができる。 2 段階：高齢者の生活の特徴について理解し、高齢者の抱える生活課題について知ることができる。 【思考・判断・表現】 1 段階：高齢者との適切な関わり方について考えることができる。 2 段階：高齢者の心身の特徴や課題に応じた望ましい行動について、考え、判断することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 1 段階：高齢者と共に生き、互いに支え合って生活していくことの大切さに気付くことができる。 2 段階：高齢者との生活について考え深め、生活課題に応じた望ましい行動について考えることができる。
					評価方法：授業態度、 出席、プリント課題、実技

6 7 8 (12 1 2)	10	【家族・家庭生活】 【衣食住の生活】 【消費生活・環境】 ・食生活について I C T活用	【知識及び技能】 ・生活の中で食事が果たす役割と健康的な食生活について理解することができる。 ・日常生活と関連付け、用途に応じた食品の選択、食品や調理用具等の安全と衛生に留意した管理、材料に適した加熱調理の仕方について知り、基礎的な日常食の調理ができる。 【思考・判断力、表現力】 ・健康によい食習慣について考え、工夫することができる。 ・基礎的な日常食の調理について、食品の選択や調理の仕方、調理計画を考え、表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・日本の生活文化(伝統的な料理の様式と盛り付け、配膳)を継承しようとする態度を身に付けることができる。	□食生活 ○食生活の安全と衛生 ①食品の選択と保存 ②食生活の衛生と安全 ○生涯の健康を見通した食事計画 ①栄養バランスの良い食事 ②日本の伝統的な料理様式と盛り付け、配膳について ○調理実習 ①衛生的で適切な調理器具の取り扱い(食器洗い・清掃) ②栄養価を考えた献立、彩り良い盛り付け方、料理に応じた食器選び (例：肉じゃがなど肉と野菜を調理するもの、日本食) 〔社会：日本の歴史〕 〔保健：健康〕 〔数学：計量〕〔国語：読む〕	【知識・技能】 1段階：健康的な生活を送る上での適切な食生活と必要性について知ることができる。 2段階：安全や衛生に気をつけ、適切な加熱調理の方法について知り、調理することができる。 【思考・判断・表現】 1段階：目的に応じた適切な食品の選択や調理の仕方を考え、表現することができる。 2段階：健康的な食習慣について考え、表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 1段階：日本の伝統的な食文化に触れ、行事や季節に応じた伝統料理の良さに気付くことができる。 2段階：日本の伝統的な食文化に触れ、盛り付けや配膳などを意識し、日常生活に生かすことができる。 評価方法：授業態度、 出席、プリント課題、実技
8 9 (2 3)	6	【家族・家庭生活】 【衣食住の生活】 【消費生活・環境】 ・消費生活について	【知識及び技能】 ・物資・サービスの購入方法や支払方法の特徴が分かり、計画的な金銭管理の必要性について知ることができる。 ・消費者被害の背景とそれらに対する適切な対応について知ることができる。 ・物資・サービスの選択に必要な情報の収集・整理ができる。 ・自分や家族の消費生活が環境や社会に及ぼす影響について気付くことができる。 【思考・判断力、表現力】 ・物資・サービスの選択に必要な情報を活用して適切な購入について考え、表現することができる。 ・消費者が抱える課題やトラブルについて考え、表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・将来の家庭生活や職業との関わりを見通して学習に取り組もうとする態度を身に付けることができる。 ・持続可能な社会の構築を目指し、環境に配慮した望ましい消費行動をしようとする態度を身に付けることができる。	□経済生活 ○職業生活を設計する ①経済的に自立する ○計画的に使う ①収入と支出を知る ②様々な購入方法、支払い方法 ③適切な消費行動について ○現代の消費社会 ①消費者をめぐる問題 〔社会：消費生活〕 〔数学：計算、収支のしくみ〕	【知識・技能】 1段階：物資・サービスの様々な購入方法について知ることができる。 2段階：様々な購入方法、支払い方法について知り、それぞれの良さと課題について知ることができる。 【思考・判断・表現】 1段階：物資・サービスの購入において、必要な情報を収集、整理して考えることができる。 2段階：物資・サービスの購入時に自分の生活に置き換えて、必要な情報を取捨選択しながら考え、判断することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 1段階：環境に配慮した消費行動の大切さに気付くことができる。 2段階：環境に配慮した消費行動について、日常生活での具体的な行動について考えることができる。 評価方法：授業態度、 出席、プリント課題、実技